

セラピー用アザラシ型メンタルコミットロボット・「パロ」 アジアで本格展開へ

株式会社 知能システム（本社：富山県南砺市）

- 株式会社 知能システム【代表取締役社長 大川 丈男】（以下、ISC）は、「アザラシ型メンタルコミットロボット・パロ」（以下、パロ）について、アジアで本格展開を開始。
- パロは、（独）産業技術総合研究所（以下、産総研）と（株）マイクロジェニックスが共同開発し、平成 16 年 9 月 17 日に第 8 世代、平成 25 年 9 月 13 日に第 9 世代が発表され、弊社が知的財産権のライセンスを受けた。平成 17 年 3 月 25 日からパロを市販し、これまでに、日本と欧米を中心に、約 30 か国以上で約 3,000 体以上（日本が約 4 分の 3）が活用されてきた。
- 平成 25 年 12 月以降、シンガポールでは、厚生省(Ministry of Health)所管で高齢者のケアを担当する Agency for Integrated Care (AIC)が、産総研と協力し、Alzheimer's Disease Association (ADA)の認知症高齢者向けのデイケアサービスセンターと、現地のナーシング・ホーム（日本の特別養護老人ホームに相当）等において、パロの臨床評価を実施し、特に認知症高齢者に対するセラピー効果を検証してきた。それらの結果を踏まえて、パロの導入が始まった。
<http://www.aic.sg/> (AIC) および、<http://www.alz.org.sg/> (ADA)
<http://aic.sg/newsletter/mosAIC/jul2014/files/assets/common/downloads/publication.pdf>
(AIC ニュースレター、13 ページ目にパロを導入した施設を紹介)
- AIC と ADA は、良好な臨床評価結果を踏まえて、10 月 9 日、10 日にシンガポールで厚生省と AIC が主催する「Healthcare Productivity Seminar」において、結果を発表すると共に、ADA がパロを展示し、9 日に厚生大臣や現地メディアに対して、パロと臨床評価結果を紹介する。
http://aic.sg/healthcareproductivity_qualityfestival/
- 香港では、Hospital Authority の沙田病院や NPO のデイサービス等で導入され、香港中文大学医学部等が認知症について臨床評価を行い、その良好な結果を国際会議等で発表している。
- パロのアジアでの本格展開として、今年から、シンガポールと香港において、それぞれ IDS Medical System 社（IDSMED）が販売代理店となり、パロの導入時の研修やメンテナンス等のサービスも提供する。IDSMED は、シンガポールと香港で、それぞれ医療福祉機器販売の最大手であり、香港の The Fung Group (年商 2 兆円超)の子会社である。
<https://www.idsmmed.com/> (IDSMED)
<http://www.funggroup.com/eng/global/home.php> (The Fung Group)



図 1 アザラシ型ロボット・パロ（左からホワイト、ゴールド、サクラ、チャコール・グレー）

■ 本件問い合わせ先 ■

(パロのビジネスに関して)

株式会社 知能システム

東京支店 担当 海老沼 豊 〒140-0013 東京都品川区南大井 3-6-20

TEL 03-5753-5345 FAX 0763-62-8600

E-mail: sales@intelligent-system.jp

URL: <http://intelligent-system.jp/>

(パロの研究開発やセラピー効果に関して)

独立行政法人 産業技術総合研究所

ヒューマンライフテクノロジー研究部門

上級主任研究員 柴田 崇徳 〒305-8566 茨城県つくば市東 1-1-1 中央第 6

TEL : 029-862-6586 FAX : 029-861-6774

E-mail : shibata-takanori@aist.go.jp

<http://paro.jp>

兼任：東京工業大学大学院 連携教授

兼任：マサチューセッツ工科大学高齢化研究所 客員フェロー